

渋沢栄一

- 経済発展への貢献
  - 1873年 第一国立銀行 創設 → のちに金融システム発展へ
  - 会社設立に関与
    - 約500以上 → 日本の産業基盤を形成
    - 大阪紡績会社
      - 繊維産業の礎を築く
      - 産業革命を牽引
  - 「近代日本経済の父」
    - 民間主導の資本主義を推進
    - 西洋諸国に追いつくための基盤づくり
    - 

      新紙幣1万円札に採用
      （2024年7月3日～）
- 社会事業への関与
  - 「利他の精神」
    - 経済活動の中心に置くべき
    - 社会福祉施設や教育機関の設立に尽力
  - 
    施設の運営
    - 養育院
      - 貧しい人々を救済
      - 更生が必要な少年のための学校の設立も
    - 日本赤十字社 → 前身は博愛社（負傷した兵士を救護）
    - 東京慈恵医院 → 相談役就任、財団化に尽力
    - がん研究会 → 設立と副総裁に就任
- 教育と文化の振興
  - 日本の未来は教育によって大きく左右されるべき
  - 教育機関の設立
    - 商業講習私塾⇒商法講習所として発展
    - 
      女性への高等教育の重要性を訴える
      - 東京女学館
      - 日本女子大学
  - 娯楽・文化への貢献
    - 浅草に「日本パノラマ館」の開業を主導
    - 東京会館の開業 → 社交の場として
    - 田園調布の開発 → 🇫🇷凱旋門広場をモデル